

2014 年 10 月 1 日

## 世界の子ども日本語ネットワーク推進事業 第 6 回「海外児童日本体験プログラム」 海外参加校決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 6 回「海外児童日本体験プログラム」に参加する海外校の決定について、本日、文部科学省 文部科学記者会にて発表しましたので、ここにご報告いたします。

- ▶ 有識者で構成された審査会において、厳正なる審査の結果、13 の国・地域から 14 校が本プログラムの参加校として選出されました(※別紙参照)

### ■ 当事業の目的

日本語を大切にしながら異文化体験や国際交流を通じて、日本の生徒と海外の生徒がお互いの理解を深め、国際人として成長する機会を提供することを目的としています。

### ■ プログラム概要

「海外児童日本体験プログラム」は、海外の中等教育機関(日本の中学校に相当)で日本語を学ぶ児童・生徒を日本に招待し、日本校への訪問や同世代の生徒との交流、文化・社会体験などを通して、日本のことばや文化への理解・関心を深めるものです。

### ■ 助成内容

日本までの往復航空運賃、日本滞在中の宿泊費・食費・活動費(研修費、交通費を含む)

### ■ スケジュール

実施:2015 年 4 月 18 日～29 日(予定)

※このプログラムに参加する海外校生徒を引率する日本語教師を対象とした事前研修を 2014 年 11 月 18 日～12 月 4 日に実施予定

事業およびプログラムの内容につきましては、財団ホームページをご覧ください。

この事業は、国際交流基金、国際日本語普及協会、呉鳳科技大学、スリランカ日本語教師会、土日基金文化センター、モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会などの協力によって実施されています。

博報財団(正式名称:公益財団法人 博報児童教育振興会)は、1970年に設立された財団法人博報児童教育振興会を母体として公益認定され、2011年4月に公益財団法人としてスタートしました。

次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成事業」「国際日本研究フェロースhip」「世界の子ども日本語ネットワーク推進事業」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行なっています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

### ■ 本件に関するお問い合わせ先:

世界の子ども日本語ネットワーク推進 事業 (担当: 川島・横山・内海)

TEL: 03-5570-5008 / FAX: 03-5570-5016

E-mail: office@hgnet.jp

## 第6回「海外児童日本体験プログラム」 海外参加校一覧

所在地	学校	引率する日本語教師
イギリス	グレシャムズ スクール	ライアン <u>ウエスト</u>
インド	モディ学校	アショク シング <u>ラトロ</u>
インドネシア	マダニア中学校	ミルナ <u>ムハルディナ</u>
オーストラリア	ヒューオンビル ハイスクール	ジョー <u>スタニー</u>
スリランカ	ロイヤル カレッジ、パーナドゥラ	カマニ ニルーシャー <u>デルパチタラ</u>
タイ	スアングラーブウィッタヤーライ ランシット学校	スポンパン <u>チットバンタオ</u>
トルコ	トルコ・テレコム職業と技術アナドル高等学校	ベルナ <u>ダアル スルメン</u>
フィリピン	フィリピン日系人会インターナショナルスクール	ジョヴィリン ジョイス A <u>デルガド</u>
ブラジル	コレジオ チラデンテス ダ ブリガタ ミリタル デ パッソフンド	メグミ <u>サトウ タナベ</u> (恵 佐藤 田名部)
ベトナム	タイソン中学校	<u>ファン</u> クイン アイン
マレーシア	スルタン アラム シャー校	<u>チン</u> シュウシュウ (陳 秀秀)
マレーシア	ブキッ ムルタジャム ハイスクール	<u>タン</u> コンライ
モンゴル	ナラン第23番学校	<u>ドルジ</u> ネルガイ
ロシア	1421番学校	エリーナ <u>マフムディ</u>